

Japan Tobacco International (JTI)  
2017年12月期 業績報告資料

## JTI トップライン成長回帰に向けた好調なモメンタム

(億本、百万ドル)	10-12月		前年同期比 増減率	1-12月		前年同期比 増減率
	2017	2016		2017	2016	
総販売数量 <sup>1</sup>	1,005	945	6.3%	3,985	3,987	-0.1%
GFB 販売数量 <sup>1</sup>	691	674	2.5%	2,859	2,837	0.8%
自社たばこ製品売上収益 <sup>2</sup>	2,603	2,429	7.2%	10,498	10,490	0.1%
為替一定ベース 自社たばこ製品売上収益	2,516	2,429	3.6%	10,457	10,490	-0.3%
調整後営業利益	391	468	-16.4%	3,138	3,095	1.4%
為替一定ベース 調整後営業利益	352	468	-24.9%	3,219	3,095	4.0%

### ハイライト

#### 第4四半期実績(2017年10-12月期)

- 総販売数量は、6.3%増。インドネシア及びフィリピンにおける買収効果及び流通在庫調整による比較上のマイナス影響を除いた場合は、0.5%増。
- GFB 販売数量は、「ウィンストン」、「キャメル」及び「LD」等が牽引し、2.5%増。
- 為替一定ベースでの自社たばこ製品売上収益は、買収効果及びいくつかの主要市場におけるプライシング及び市場シェアの伸長により、3.6%増。財務報告ベースでは、7.2%増。
- 為替一定ベースでの調整後営業利益は、英国における取引先が英国企業倒産法に則した手続の適用を申請したことに伴う一過性の損失により、24.9%減。財務報告ベースでは、16.4%減。当該影響を除いた場合は、コスト低減効果及び単価上昇効果により、為替一定ベースでの調整後営業利益は、10.7%増。財務報告ベースでは、21.8%増。
- 2017年12月に、カナダにおいてたばこベイパー商品<sup>3</sup>である Ploom TECH の販売を開始。

#### 12ヶ月実績(2017年1-12月期)

- 為替一定ベースでの調整後営業利益は、英国の取引先関連の一過性の損失を除いた場合、コスト低減効果及び単価上昇効果により、9.9%増、財務報告ベースでは 7.7%増。当該影響を含んだ調整後営業利益は、為替一定ベースでは、4.0%増。財務報告ベースでは、1.4%増。
- GFB 販売数量は、0.8%増。これは、販売数量を 3.5%増とした「ウィンストン」の力強いパフォーマンス及び先進国や新興国における市場シェアの伸長が牽引したため。
- 総販売数量は、0.1%減。インドネシア及びフィリピンにおける買収効果を除いた場合は、2.1%減。
- 為替一定ベースでの自社たばこ製品売上収益は、買収効果及び市場シェアの伸長により、0.3%減。財務報告ベースでは、為替影響により、0.1%増。

- 前年同期比の市場シェア<sup>4</sup>は、主要市場であるスペイン、台湾、フランス及びロシアにおいて伸長。
- 2017年12月時点で、Reduced-Risk Products<sup>5</sup>であるLogic および PloomTECH を日本を除く11ヶ国で展開。

## 業績レビュー

### 自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

#### 12ヶ月実績(2017年1-12月)

- 為替一定ベースでの自社たばこ製品売上収益は、単価上昇効果(90百万ドル)があったものの、33百万ドル減(0.3%減)の10,457百万ドル。
- 為替一定ベースでの調整後営業利益は、英国の取引先関連の一過性の損失(182百万ドル)があったものの、125百万ドル増(4.0%増)の3,219百万ドル。当該影響を除いた場合、為替一定ベースでの調整後営業利益は、将来の持続可能な成長に向け新興市場及びReduced-Risk Productsへの投資を行う中、コスト低減効果及び単価上昇効果により、306百万ドル増(9.9%増)の3,401百万ドル。
- 財務報告ベースでの自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益は、それぞれ0.1%増、1.4%増。英国の取引先関連の一過性の損失を除いた場合、財務報告ベースでの調整後営業利益は、7.7%増。

#### 第4四半期実績(2017年10-12月期)

- 為替一定ベースでの自社たばこ製品売上収益は、数量増及び単価上昇効果(50百万ドル)により、88百万ドル増(3.6%増)の2,516百万ドル。
- 為替一定ベースでの調整後営業利益は、英国の取引先関連の一過性の損失により、117百万ドル減(24.9%減)の352百万ドル。当該影響を除いた場合、為替一定ベースでの調整後営業利益は、継続的な投資を行う中、単価上昇効果及びコスト低減効果により、10.7%増。
- 財務報告ベースでの自社たばこ製品売上収益は、7.2%増。調整後営業利益は、英国の取引先関連の一過性の損失により、16.4%減。当該影響を除いた場合、調整後営業利益は、21.8%増。

### 総販売数量

(億本)	10-12月			1-12月		
	2017	2016	前年同期比 増減率	2017	2016	前年同期比 増減率
地域別						
South & West Europe	138	140	-0.9%	642	652	-1.6%
North & Central Europe	127	129	-1.3%	518	542	-4.5%
CIS+	329	333	-1.1%	1,330	1,414	-5.9%
Rest-of-the-World	411	344	19.3%	1,495	1,379	8.4%
<b>Total JTI</b>	<b>1,005</b>	<b>945</b>	<b>6.3%</b>	<b>3,985</b>	<b>3,987</b>	<b>-0.1%</b>

#### 12ヶ月実績(2017年1-12月)

総販売数量は、ウクライナ及びロシア等における総需要の減少影響及び流通在庫調整による比較上のマイナス影響を、インドネシア及びフィリピンにおける買収効果、イラン、エジプト、チュニジア、フィリピン及びブラジルにおけるオーガニック成長及び主要市場であるスペイン、台湾、フランス、及びロシアにおける市場シェアの伸長がほぼ相殺し、0.1%減の3,985億本。買収効果及び流通在庫調整による比較上のマイナス影響を除いた場合の総販売数量は、1.6%減。Fine cutの販売数量は、主に英国及びドイツにおける市場シェアの減少影響及び欧州市場における総需要の減少影響により、3.0%減。

## 第4四半期実績(2017年10-12月期)

総販売数量は、買収効果により、6.3%増の1,005億本。買収効果及び流通在庫調整による比較上のマイナス影響を除いた場合の総販売数量は、市場シェアの伸長により、0.5%増。Fine cutの販売数量は、主に英国における価格競争の激化が影響し、0.7%減。

### GFB販売数量

(億本)	10-12月			1-12月		
地域別	2017	2016	前年同期比 増減率	2017	2016	前年同期比 増減率
South & West Europe	124	125	-0.5%	579	586	-1.1%
North & Central Europe	81	79	2.5%	327	336	-2.9%
CIS+	262	254	3.2%	1,043	1,071	-2.7%
Rest-of-the-World	225	217	3.6%	910	844	7.9%
<b>Total JTI</b>	<b>691</b>	<b>674</b>	<b>2.5%</b>	<b>2,859</b>	<b>2,837</b>	<b>0.8%</b>

## 12ヶ月実績(2017年1-12月)

GFB販売数量は、アゼルバイジャン、イラン、エジプト、カナダ、スペイン、台湾、チュニジア、フィリピン、ブラジル、米国及びルーマニアが牽引し、0.8%増の2,859億本。GFBのFine cutの販売数量は、主にチェコ、ドイツ及びベネルクスにおける販売数量の減少影響により、1.5%減。

総販売数量におけるGFB販売数量の構成比は、前年同期比0.6パーセントポイント増の71.8%。

「ウinston」の販売数量は、アゼルバイジャン、イラン、ウクライナ、エジプト、台湾、チェコ、フィリピン及びブラジル等が牽引し、3.5%増となり、過去最高の1,443億本。Fine cutの販売数量は、昨年と同水準を維持。「ウinston」の市場シェアは30以上の市場において伸長し、そのうち20以上の市場において過去最高の市場シェアを記録。

「キャメル」の販売数量は、主にスペイン、タイ、チュニジア、トルコ、フィリピン及びベラルーシにおいて伸長し、1.1%増となり過去最高の527億本。Fine cutの販売数量は、イタリア及びスペインが牽引し、1.6%増。

「メビウス」の販売数量は、韓国、カンボジア及びミャンマーにおける好調なパフォーマンスがあったものの、台湾における増税による数量減を相殺出来ず、0.9%減の178億本。

「LD」の販売数量は、アゼルバイジャン、カナダ、台湾、米国、ヨルダン及びロシアにおいて伸長したものの、主にウクライナにおける総需要の減少影響により、4.2%減の456億本。Fine cutの販売数量は、ハンガリーにおける販売数量の減少影響により、14.7%減。「LD」は、カザフスタン、カナダ、シンガポール、台湾及びロシアを含む9市場において過去最高の市場シェアを記録。

## 第4四半期実績(2017年10-12月期)

GFB販売数量は、アゼルバイジャン、イラン、カンボジア、トルコ、フィリピン及びロシアが牽引し、2.5%増の691億本。GFBのFine cutの販売数量は、イタリア及びスペインの伸長により、1.0%増。

## 地域別実績

### 12ヶ月実績(2017年1-12月)

#### South and West Europe

(億本、百万ドル)	1-12月		前年同期比 増減率
	2017	2016	
総販売数量	642	652	-1.6%
GFB販売数量	579	586	-1.1%
為替一定ベース 自社たばこ製品売上収益	1,932	1,980	-2.4%

為替一定ベースでの自社たばこ製品売上収益は、主にフランスの影響により、数量効果(9百万ドル)及び単価効果(38百万ドル)がネガティブに作用し、2.4%減。

総販売数量及び GFB 販売数量は、イタリア、ギリシャ、フランス及びベネルクスにおいて減少し、それぞれ1.6%減、1.1%減。市場シェアは、オランダ、スイス、スペイン、フランス及びルクセンブルグにおいて伸長。

フランスにおける総販売数量及び GFB 販売数量は、総需要の減少影響及び流通在庫調整による比較上のマイナス影響により、それぞれ3.1%減、3.0%減。Fine cut の販売数量は、「キャメル」及び「フリュードペイ」が減少したことにより、2.1%減。市場シェアは、「ウinston」、「キャメル」及び「フリュードペイ」が牽引し、0.1パーセントポイント増の22.0%。

イタリアにおける総販売数量及び GFB 販売数量は、総需要および市場シェアの減少影響により、ともに2.3%減。Fine cut の販売数量は、「ウinston」、「キャメル」及び「ナチュラルアメリカンスピリット」が牽引し、19.0%増。市場シェアは、0.2パーセントポイント減の23.1%。

スペインにおける総販売数量及び GFB 販売数量は、主に「キャメル」が牽引し、それぞれ1.5%増、1.7%増。Fine cut の販売数量は、「ウinston」、「キャメル」、「ナチュラルアメリカンスピリット」及び「アンバーリーフ」が牽引し、3.3%増。市場シェアは、主に「ウinston」及び「キャメル」が牽引し、1.3パーセントポイント増となり過去最高の24.0%を記録。

#### North and Central Europe

(億本、百万ドル)	1-12月		前年同期比 増減率
	2017	2016	
総販売数量	518	542	-4.5%
GFB販売数量	327	336	-2.9%
為替一定ベース 自社たばこ製品売上収益	1,986	2,254	-11.9%

為替一定ベースでの自社たばこ製品売上収益は、主に英国の影響により、数量効果(128百万ドル)及び単価効果(140百万ドル)がネガティブに作用したことにより、11.9%減。

総販売数量及び GFB 販売数量は、主にアイルランド、英国、スウェーデン、ドイツ及びハンガリーにおける販売数量の減少影響により、それぞれ 4.5%減、2.9%減。市場シェアは、チェコにおいて伸長。

オーストリアにおける GFB 販売数量は、「ウinston」、「キャメル」、「ベンソン・アンド・ヘッジズ」及び「ナチュラルアメリカンスピリット」の市場シェアの伸長により、1.6%増。総販売数量は、GFB 以外のブランドの市場シェアの減少影響により、2.0%減。市場シェアは、0.3 パーセントポイント減の 31.1%。

ドイツにおける総販売数量及び GFB 販売数量は、主に Fine Cut における総需要及び市場シェアの減少影響により、ともに 7.3%減。市場シェアは、Fine cut における価格競争の激化が「ウinston」及び「キャメル」等の GFB ブランドに影響し、0.5 パーセントポイント減の 7.6%。

英国における総販売数量及び GFB 販売数量は、市場シェアの減少影響及び総需要の減少影響により、それぞれ 6.1%減、3.8%減。英国における取引先が英国企業倒産法に則した手続の適用を申請したことに伴う事業活動上の影響はなし。Fine cut の販売数量は、価格競争の激化が英国における No.1 ブランドである「アンバーリーフ」に影響し、6.0%減。市場シェアは、「アンバーリーフ」が影響し、1.3 パーセントポイント減の 40.4%。

## CIS+

(億本、百万ドル)	1-12 月		前年同期比 増減率
	2017	2016	
<b>総販売数量</b>	1,330	1,414	-5.9%
<b>GFB 販売数量</b>	1,043	1,071	-2.7%
<b>為替一定ベース 自社たばこ製品売上収益</b>	2,403	2,532	-5.1%

為替一定ベースでの自社たばこ製品売上収益は、単価上昇効果(23 百万ドル)があったものの、ネガティブな数量効果(151 百万ドル)により、5.1%減。

総販売数量及び GFB 販売数量は、ウクライナ及びロシアにおける総需要の減少影響等により、それぞれ 5.9%減、2.7%減。市場シェアは、アゼルバイジャン、ルーマニア及びロシアにおいて増加。

ルーマニアにおける総販売数量及び GFB 販売数量は、主に「ウinston」及び「ソブラニー」が牽引し、それぞれ 0.2%増、3.4%増。市場シェアは、「ウinston」及び「ソブラニー」が牽引し、0.4 パーセントポイント増の 26.6%。

ロシアにおける総販売数量及び GFB 販売数量は、総需要が 7.4%減と推計<sup>6</sup>される中、流通在庫調整による比較上のマイナス影響があったものの、それぞれ 5.0%減、2.1%減。第 4 四半期における四半期別市場シェアは、前年同期比 2.0 パーセントポイント増の 33.8%。12 ヶ月平均の市場シェアは、0.4 パーセントポイント増の 33.2%。GFB の市場シェアは、ともに過去最高シェアを記録した No.1 ブランドである「ウinston」及び「LD」が主に牽引し、0.9 パーセントポイント増の 25.6%。売上シェアは、0.3 パーセントポイント増の 34.5%。

## Rest-of-the-World

(億本、百万ドル)	1-12 月		前年同期比 増減率
	2017	2016	
<b>総販売数量</b>	1,495	1,379	8.4%
<b>GFB 販売数量</b>	910	844	7.9%
<b>為替一定ベース 自社たばこ製品売上収益</b>	4,136	3,724	11.1%

為替一定ベースでの買収効果を含む自社たばこ製品売上収益は、力強い数量効果(166 百万ドル)及び単価上昇効果(246 百万ドル)により、11.1%増。買収効果を除いた場合、自社たばこ製品売上収益は、8.7%増。

総販売数量は、インドネシア及びフィリピンにおける買収効果により 8.4%増。買収効果を除いた場合、2.6%のオーガニック成長。GFB 販売数量は、イラン、エジプト、カナダ、韓国、台湾、チュニジア、フィリピン、ブラジル、米国、マレーシア及びモロッコにおける市場シェアの伸長により、7.9%増。

イランにおける総販売数量及び GFB 販売数量は、同市場において最速で成長しており最大のブランドである「ウinston」の力強いパフォーマンスが牽引し、それぞれ 14.3%増、32.8%増。

台湾における GFB 販売数量は、「ウinston」及び「LD」の伸長により、4.3%増。総販売数量は、台湾における 6 月の増税による総需要の減少影響により、2.0%減。市場シェア及び売上シェアは、「ウinston」及び「LD」が牽引し、それぞれ 1.8 パーセントポイント増の 41.7%、1.3 パーセントポイント増の 47.6%。

トルコにおける総販売数量及び GFB 販売数量は、流通在庫調整の比較上のマイナス影響及び市場シェアの減少影響により、それぞれ 3.4%減、1.3%減。市場シェアは、「ウinston」の好調なパフォーマンスがあったものの、「キャメル」及び「LD」が減少し、0.6 パーセントポイント減の 28.8%。

### 注記:

<sup>1</sup> 製造受託、水たばこ製品及び Reduced-Risk Products を除き、fine cut、シガー、パイプ、スヌース及びクレテックを含む、JTI からの売渡ベースの販売数量。

<sup>2</sup> 物流事業、製造受託等を控除した売上収益(水たばこ製品及び Reduced-Risk Products を含む)。

<sup>3</sup> たばこ葉を使用し、たばこ葉を燃焼させずに、加熱等によって発生するたばこペーパー(たばこ葉由来の成分を含む蒸気)を愉しむ商品。

<sup>4</sup> 出典: IRI, Logista, Nielsen 及び JTI 内部データ。特に言及がない限り 2017 年 12 月時点の 12 ヶ月移動平均ベース。

カザフスタン及びドイツに関するデータは 2017 年 11 月時点の 12 ヶ月移動平均ベース。

2017 年 11 月時点での 12 ヶ月移動平均市場シェアの増減算出の比較対象は 2016 年 12 月時点の 12 ヶ月移動平均ベース。

<sup>5</sup> RRP は、E-Vapor(電子たばこ)製品及び T-Vapor(たばこペーパー)製品等、喫煙に伴う健康リスクを低減させる可能性のある製品(Reduced-Risk Products, RRP)を指しております。E-Vapor 製品は、たばこ葉を使用せず、装置内もしくは専用カートリッジ内のリキッド(液体)を電気加熱させ、発生するペーパー(蒸気)を愉しむ製品です。一方、T-Vapor 製品は、たばこ葉を使用し、たばこ葉を燃焼させずに、加熱等によって発生するたばこペーパー(たばこ葉由来の成分を含む蒸気)を愉しむ製品です。当社グループは、たばこ事業の将来に亘る持続的な成長のため、イノベーション製品の開発等に取り組んでおります。

<sup>6</sup> 出典: JTI 内部データ 2017 年 1-12 月ベースの対前年同一期間比較。

【本件に関するお問い合わせ】

JT IR 広報部 東京都港区虎ノ門 2-2-1 代表 03-5572-4292